

市街地再開発事業や防災街区整備事業検討区域において、個々の権利者に建物の存置・移転等の個別利用のニーズが見られる中で、様々にその対応策が図られてきましたが、平成28年の都市再開発法改正により個別利用区制度が導入されたことで、更なる個別利用ニーズへの対応の多様性が生まれて参りました。一方で、そもそも区域内での共同化敷地と個別利用区のバランスの取り方の難しさや個別利用区設定プロセスの煩雑さもあって、なかなか適用事例が積みあがっていない状況です。

今回の研究会では、建物や敷地の個別利用ニーズが様々にみられる中で、再開発事業や防災街区整備事業での事例の紹介を交えつつ、他の個別利用ニーズ対応手法との比較も行うことで、今後の市街地再開発事業の個別利用区制度の活用可能性を検討していきたいと思っております。

◇内 容

- 第1部：個別利用ニーズへの対応手法と市街地再開発事業における個別利用区マニュアルの概説
- 第2部：市街地再開発事業における個別利用区制度適用の事例考察
元浜町13番街区（滋賀県長浜市）／新千葉2・3番地区
- 第3部：農産市場地区防災街区整備事業に見る個別利用区の活用事例紹介
- 第4部：パネルディスカッション 個別利用区制度適用の際の課題や今後の展望について

※講義内容については多少変更となる部分があることをご了承ください

◇講 師

一般財団法人首都圏不燃建築公社 事業開発部 課長 越渡 英雄 氏

(一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 委員

株式会社アール・アイ・エー 東京本社 開発企画本部 開発企画部 次長 岡田 健司 氏

◇コーディネーター

株式会社アール・アイ・エー 東京本社 開発企画本部 本部長 中尾 俊幸 氏

(一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 委員

◇都市計画 CPD

当プログラムは都市計画 CPD 認定の申請を予定しています。

日 時：令和5年2月8日(水) 14:00~17:00
 場 所：ビジョンセンター浜松町(住所：港区浜松町2-8-14 浜松町TSビル)
 ※会場が外部会場ですので、ご注意願います。(https://www.visioncenter.jp/hamamatsucho/access/)
 定 員：約40名(但し、定員になり次第、締切と致します。)
 参加費：15,000円(会員は13,000円)(税込)
 ※事前振込とし、当日参加費の現金取扱いは致しません。

申込方法：下記①、または②の方法にてお申込み下さい。

- ① 右記申込みフォームよりお申込み下さい。【<http://urca.or.jp/mailform/gijyutu06/gijyutu06entry.html>】
- ② 下記申込欄にご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申込み下さい。

FAX 03-3454-3015 メール：jigy@urca.or.jp

※ 参加される方は、各自マスクをご用意頂き、必ず着用いただきますよう、お願い致します。

※ 受講当日は、受講票(後日送付)を忘れずにお持ちいただきますよう、お願い致します。

なお、開催3日前までに参加費の入金確認が取れない場合、受講票は無効となります。

会社名： _____ 電話： _____

請求書送付先：(〒 _____) _____

請求書宛名： _____

会員種別 (1.個人会員(正・賛助) 2.法人会員(正・賛助) 3.一般)

所 属・役 職 名	氏 名	連絡先メールアドレス